ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.177

発　行　日　　平成28年12月９日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,494名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

“見える化”の実現に向けて

（公社）新潟県理学療法士会
社会局 広報部長　**松　林　義　人**

平成28年もあっという間に過ぎようとしています。会員の皆様におかれましては、年の瀬も迫りつつあり、ご多用の日々をお過ごしのことと存じます。

平成27年6月に社会局広報部を拝命し1年6ヶ月が経過するところで、巻頭言として掲載する機会をいただきましたので、今回は広報部の活動を報告させていただきます。

ゆきわり草173号（平成28年1月発行）の巻頭言にて、佐藤成登志会長より6つのシステム構築が提言されました。その中に「会員への情報提供が迅速にできるシステムの構築」と「理学療法士を社会に浸透させるためのシステムの構築」が挙げられています。この提言に対し、我々広報部は士会の「“見える化”の実現」をキーワードに活動をしてきました。主な活動内容は、11月12･13日に上越地区（ユートピアくびき希望館）で開催された第25回新潟県理学療法士学会でも報告しましたが、当会ホームページのリニューアルです。

リニューアルの大きなポイントは下記2点であり、佐藤会長の提言にある「会員への情報提供が迅速にできる」ことを受け、「“見える化”の実現」に向けて構築しました。

1．構成の一新

今までのホームページは2008年から約8年間使用されてきました。シンプルな構成であり、編集をしやすいメリットがありましたが、研修会情報などの更新により、掲載ページがどんどん下方に移動していき、研修会の開催日時に応じて閲覧することが難しい状況でした。そのためリニューアル後は、研修会等の種類によってページを分けることでみやすくし、さらには最近の研修会情報をトップページ右上にわかりやすく表示するようにしました。また、スマートフォンにも対応しました。

2．迅速な情報の発信

会員の皆様に対して迅速に情報を発信するための手段として、メールマガジン（メルマガ）を構築しました。ホームページの更新やFacebookでの情報発信も継続していきますが、確実に情報をお届けするためにもメルマガを有効に活用していきたいと考えています。そのため、会員の皆様にはメルマガへの登録をお願いいたします。また将来的には、ペーパーレス化を目指し、各種お知らせも電子化していく方向で進めています。

今回のリニューアルは上記2点を中心に作業を進めてきましたが、今後は、理学療法士を社会に浸透させる手段としてホームページ等の広報媒体を有効活用できるよう検討していきたいと考えております。

ホームページのリニューアルに関して、実際の運用を通して様々な改善点や新しい提案が見つかることと思います。そのため、会員の皆様も頻繁にホームページをチェックしていただき、さまざまなご意見をいただきたいと思います。今後も当会の活動にご協力賜りますようお願いいたします。

目　　次

“見える化”の実現に向けて …… 1
職場紹介…… 2
リレーエッセイ…… 4
研修会参加記…… 5
平成28年度第2回理事会議事録 …… 6
学術局学会研修会だより…… 7
事務局ニュース…… 9
公益事業部　事業実施報告…… 11
広報部ニュース…… 12
編集後記…… 12

あがの市民病院

昭和29年に国保直営の病院として開院以来、地域の保健・医療・福祉の拠点としての役割を担ってきた「水原郷病院」は、平成22年に新潟県厚生連の指定管理を受けて公設民営の病院となったことを機に、老朽化した施設を敷地内に新築移転し、平成27年10月1日「あがの市民病院」として新しく生まれ変わりました。

新病院は250床、16診療科からなる総合病院で、阿賀野市を中心とした地域の後方支援病院として、近隣の３次救急病院や、地元開業医からの患者紹介に対応しています。また、新しく「糖尿病・生活習慣病予防治療センター」と「地域医療・連携センター」を開設し、これまで以上に地域の皆様の健康管理や、地域包括医療ケアシステムの構築に貢献できるよう体制づくりを進めています。

リハビリテーション科は、新病院のほぼ真ん中の２階に位置し、他部門とのアクセスも良好。広く明るくなった訓練室では、整形疾患、廃用症候群、神経疾患、認知症などの患者様達が元気に訓練を続けています。もう「寒いからリハビリに行きたくない…」とは言わせません。

スタッフは、PT ８名、OT ２名、ST １名の11名体制で、PT １名、OT １名が老健を、PT ２名が訪問リハを担当し、切れ目のない地域リハサービスの提供のため、日々院内外を駆け回っています。

ここ数年スタッフのおめでたが続いており、新しく生まれた命共々、私達も、瓢湖の白鳥のように大きく羽ばたき、成長していきたいと考えています。

職場紹介２

医療法人 誠心会 吉田病院

当院は長岡駅から徒歩10分以内と利便性の良いとこにあります。

昭和40年に吉田外科医院を開設、昭和43年吉田外科医院を廃止し、同所に医療法人 誠心会 吉田外科病院を開設する。昭和61年病院増築工事の着工に伴い診療内容の拡大整備を行うため、病院の名称を変更して吉田病院とする。以来50年以上、地域とともに歩んでまいりました。病床数は一般病棟48床、療養病棟41床、介護療養型医療施設36床、計125床の病院です。リハビリテーション科はPT３名、OT１名、ST１名が所属し整形外科疾患、脳血管疾患、廃用症候群を中心に業務を行っております。

当院の医療方針は

- 患者様第一主義をモットーとする。
- 最善の医療を追求する。
- 地域医療の向上に積極的にかかわる。
- 医療はチームプレーである事を念頭に置き、全員が患者様の回復に全力をあげる。

という方針のもと日々業務に励んでいます。

高齢化社会を迎えての訪問看護ステーションや訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所の併設など、地域にあって何をなすべきかを職員と共に考えた医療を行っております。これからも、旧市街地に残る唯一の病院として地域医療にスタッフ一同、貢献してまいりたいと思います!!

リレーエッセイ 1

大好きな子どもとの時間

ゆきよしクリニック　リハビリテーション部　**伊　藤　　将**

私には２歳の娘がいます。平日はあまり関わることができていませんが、休日は一緒に公園に遊びに行ったり、買い物に出かけたり、絵本を読んだり、おままごとをしたりと楽しく過ごしています。

外出の時には車の中で「おかあさんといっしょ」の歌を聴きながら移動するのですが、曲のイントロが流れた時に「この歌何？」と聞くと、すぐにその曲を当ててしまいます。その記憶力にも驚かされますが、昨日できなかったことができるようになったり、言葉を話したり歌を歌ったりと、毎日子どもの成長を感じることができています。ただ成長していく嬉しさの反面、小さい頃の写真を見返したときに少し寂しさもありますが…。

ここ最近は月日の流れが早く感じられ、あっという間に子どもは大人になっていきます。子どもでいる時間は短いため、日々を大切に過ごしていきたいと思います。

次は、魚沼基幹病院の今井遼太さんです。

リレーエッセイ 2

青　　汁

岩室リハビリテーション病院　**渡　辺　ひとみ**

今年の４月ごろから、青汁を飲み始めました。最初は、健康のために…となんとなく始めてみたのですが、すっかりはまってしまい、今では１日２杯食事と一緒に飲むのが日課となっています。だいたいの商品に記載してある通り100～200mℓ程度の水で希釈すると、けっこう苦くて渋みもあり、抵抗があるかもしれません。私は、400～500mℓの白湯で薄めに希釈しています。普通の緑茶みたいな感覚でグイグイ飲めるので、おすすめです。白湯＋豆乳で割ったり、少しハチミツを入れたりすると、ほんのり甘くてさらにおいしいです。

以前から、健康診断にてずっと中性脂肪が高値でしたが（恥ずかしながら…）、青汁を飲み始めて数ヵ月、中性脂肪が正常値内になりました。たまーに運動と、青汁。それ以外特に生活スタイルは変わっていないので、やはり青汁効果が大きいのでは！と実感しています。ぜひ、青汁試してみてください。

次回は、五十嵐整形外科の高橋諒さんです。よろしくお願いします。

研修会参加記

新潟西蒲メディカルセンター病院
渡邉　仁美

平成 28 年 6 月 19 日、新潟市万代市民会館にて第 97 回研修会「姿勢・歩行制御と運動器理学療法」の研修会が開催されました。今回は京都大学の建内宏重先生より、ご講義頂きました。

講義では、筋骨格系の各要素がどのように協調し、姿勢と歩行の制御を行っているかについて学ぶことができました。姿勢変化に対する身体の反応・構造を知ることで、姿勢や歩行への理解を深めることができ、また、運動連鎖や姿勢制御を使用した治療の紹介は、臨床の場面にも生かせる貴重な体験でした。姿勢や歩行は、理学療法士にとって身近な存在です。今回の研修会に参加し、関節、筋間の協調関係を意識した評価・治療を行うことで、より質の高い理学療法が提供できると感じました。

最後になりましたが、貴重なご講演頂きました建内先生をはじめ、本研修会の運営に携わられた関係者の皆様に感謝申しあげます。

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

D.M.S ㈱デムス
住宅機器・福祉器具・障害器具等販売
NISSINの車椅子
メーカー直　PARAMOUNTのベッド
エンゼルの看護用品
〒940-0056 長岡市呉服町2-2-15　TEL 0258-35-5915

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園 2-2-7
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http : //www.hi-college.ac.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025)223-3630
FAX (025)222-2750

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで http://www.takayoshi.co.jp

水治療法機器　運動療法機器　作業療法機器
電気療法機器　入浴装置　ADL用品
KMK 源川医科器械㈱
本　　社 新潟市中央区東中通2番町279番地 ☎(025)229-7766
長岡営業所 長岡市稲保4丁目720番6号 ☎(0258)22-6711
上越営業所 上越市春日山町3－18－54 ☎(025)525-2521

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。
㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL：(025)281-0303
FAX：(025)281-0339
田村義肢 検索

睡眠呼吸障害をみつめて
—診断から在宅療養までサポートするテイジン—
SAS-2100
Quality of Life
TEIJIN

平成28年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第２回理事会議事録

日　時：平成28年８月７日（日）10：00～14：45
場　所：新潟県理学療法士会事務所
出　席：佐藤(成)、深川、中山、五十嵐、郷、風間、
太田、堀川、大野、上路、高鳥、立石、
飯田、柳、松林、桑原
監事：剱物、佐藤(雅)
欠　席：田中、高橋、大島、相談役：小林

会長報告

・平成28年度総会が終了したが、部局が増えたためか総会に時間がかかり、会員から総会が長すぎるとの意見があった。
来年度からは、総会の内容を考えていかなければならない。
・小川協会副会長が参議院選挙に立候補し、当選した。
・地域包括ケアシステム、在宅医療推進センターについて会員の協力が必要

各部局平成28年度４月からの活動報告

（総務部）
・平成28年度総会　６月19日(日)
新潟市万代市民会館　会員総数1,466名
出席者163名　委任状参加者874名
総会が長時間となったため、今後の検討必要。
（厚生部）
・祝電　３件
・新人歓迎会、懇親会　11月12日(土) 19：00～
ホテルセンチュリーイカヤ
新人1,000円　その他会員3,000円
申込み10月７日まで
（地域包括ケア推進部）
・在宅医療推進センター（以下推進センター）
16か所に設置
担当責任者に対する説明会が、新潟、長岡で開催された。
施設長宛の委嘱願いの文書を作成・郵送することとなった。
・８月１日にPT大野、PT笠井２名でコグニサイズの研修受講
10月16日の研修会で小林量作先生とともに講師予定
・訪問リハビリテーション実務者研修会　11月予定
・県高齢福祉保健課から、HPにPT士会が介護予防について何ができるのか掲載したいとの依頼あり。
リハビリテーション専門職協議会（以下協議会）として市町村等への派遣は一律時給5,000円とする。
ただし、依頼者側で金額が決まっていれば考慮
・推進センターに推薦された方には協議会より委嘱願いを出す。
推進センターは相談窓口であって、リーダーシップをとるものではない。（理事会承認）
・訪問リハビリテーション推進連絡会は活動を終了し、協議会に参加する。
口座設置については今後も継続課題（理事会承認）
・県士会指定事業を増やすと受講者も増えるかもしれないため、事業を増やせないかとの意見有
公益事業関係などで今後検討（理事会承認）
（広報部）
・ロゴについて　３つのデザインから理事に投票
８月26日まで
理事会参加の理事　A案13票　B案０票　C案４票
・ホームページリニューアル作業中
（公益事業部）
・８月１日～５日　高校生見学　約60施設200名の受け入れ
申込み等FAXを使用しているためうまくいかなかったことあり。
事務作業が多く負担大きい　今後事業の在り方検討
・介護予防キャンペーンと高校生見学は費用を協会が補填する予定
・介護予防キャンペーンでうちわを作製　1,000本で３万円（理事会承認）
（保険部）
・廃用症候群の４単位以上の実施については今後国保審査会で検討
他の疾患別と同様４単位以上であっても行った分の単位は請求していく（理事会承認）
（渉外部）
・小川克巳先生の当選結果報告
（表彰委員会）
・県知事表彰　小野宏一先生が一次推薦を通った。
・準備が必要なため委員会を立ち上げ、複数名で行った方がよいのではないか。（会長より委員増員提案）
・会員からの情報収集、委員会メンバーの選定、理事の把握が今後の課題
（財務部）
・決済システムについて　会費と参加費が同一口座

に一緒に入ってくるため混乱する。
口座は別にできない（今後も検討必要　継続課題）
（事務局）
・自宅会員となっているのに、施設に所属している会員がいる。
マイページで選択可能なため、勤務している会員は所属に変更してほしい。

平成28年度今後の活動予定

（会長）
・平成27・28年度目標、アクションプランについて各部局で総括して欲しい。
（総務部）
・総会の在り方について
冒頭の挨拶　来賓（県福祉保健部長、OT、ST士会長など）とメディアへの連絡
質疑の時間を決める
代議員制にすることも検討必要か（今後の課題）
（保険部）
・適時調査情報　医師のカルテ記載を厳しく確認されている。
（スポーツ活動支援部）
・個人が行っている活動の見学できるようホームページに掲載を検討
・救命救急などの研修会を検討（理事会承認）
（公益事業部）
・９月17日、18日長岡すこやか・ともしびまつりの参加者募集中
・公益事業部員　上中越の部員募集
・倫理委員会について
事業については今後検討
会員への啓発
１．倫理担当者が理事、会員に説明
２．倫理担当者がメディアに上がっているものを報告
３．理事が確認したものを事務局長へ報告

県学会

・平成28年11月12、13日　ユートピアくびき希望館
・指定管理者研修(初級)
管理者研修会、半田会長の研修会に参加した会員150名を推薦
指定管理者を増やす方向で考えている。
要件が変更になり年数などが緩和された。

次回理事会　平成28年10月23日(日) 10：00～
新潟県理学療法士会事務局

学術局学会研修会だより

学術局担当　**髙　鳥　　真**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

過日行われました第25回新潟県理学療法士学会には、多くの会員にご参加をいただきまして大変ありがとうございました。初の上越地区での開催とあり、会場の確保や参加者数の不安などありましたが、会員参加数：300名を超え成功裡に終了することができ、上越地区の特色がいかされた良い学会でした。大竹朗大会長、澤田小夜子準備委員長、猪爪一也準備委員、二ノ倉寿弘準備委員、藤澤明彦準備委員、小山英央準備委員、田中万由季準備委員には、ご多忙の中約１年間にわたりご準備頂き大変感謝しております。また運営に携わってくださった運営委員の皆さま、本当にありがとうございました。

次回、第26回新潟県理学療法士学会は新潟朱鷺メッセで開催予定です。開催に向けてすでに準備がはじまっております。大会長には新潟リハビリテーション大学の高橋明美先生、準備委員長に同大学の松林義人先生、準備委員を久保田雅史先生（桑名病院）、小出しのぶ先生（新津医療センター病院）、内藤翼先生（新潟リハビリテーション病院）にお願いし、企画・運営の労を賜って頂くことが決定しております。本年度同様、変わらぬご協力をお願い致します。

協会の包括的会員管理システムを用いた決済代行機能を導入し半年が経過しました。導入当初は不慣れな点もあり、かえって受付に時間がかかってしまい、支払方法の選択ができないなど、会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。順次改善を図って対応していきます。

混乱の中で次頁のような問題が見受けられました。会員の皆様への周知不足が原因と猛省しております。研修会に関して、何か分からないことがありましたら些細なことでも構いませんので、お気軽にお問い合わせください。

問　題　点	対　　応
「協会」と「県士会」の区別がわからない	日本理学療法士協会に入会と同時に、所属施設の所在している都道府県士会会員になります。詳しくは協会HPの「協会について」をご確認ください
マイページにログインできない （ID、パスワードを忘れた）	協会へお問い合わせください
新プロ履修中であるか修了しているかわからない	マイページでご確認ください マイページで確認できない方は生涯学習部までお問い合わせください
研修会に申込みをしたか覚えていない	返信メールまたはマイページをご確認ください
会員番号がわからない	会員カードの表左下に記載されている**8桁**の番号です
会員カードがわからない	JPTA Membership Card（協会ロゴ入りの緑色のカード）のことです
以前参加した研修会のポイントがマイページに反映されていない	研修会終了からポイント反映までには２ヶ月程度かかる場合があります ２ヶ月以上経過しても反映されていない場合は、生涯学習部までお問い合わせください

尚、同システムの利用に伴い、**原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。**

入会申請後に会員証がお手元に届いていない方でも会員番号がわかれば会員扱いとして研修会へお申し込みいただけます。その場合は、県士会HPからお申し込みください。ただし、入会申請中の方でマイページのIDならびにパスワード発行から３ヶ月以上経っても会費納入の確認ができない場合、順次会員権利が停止となります。その場合、申請中であっても「会員外」扱いとなります。ご注意いただき、かさねてご了承ください。

平成28年度研修会予定は下記の通りです。最新の情報につきましては、県士会HPをご確認ください。

平成28年度県士会主催研修会予定　（詳細につきましては、県士会HPでご確認ください）

月　日	内　容	講　師	会　場
平成29年 2月18日(土)・ 2月19日(日)	理学療法士講習会（応用編） 徒手的理学療法 ── 腰痛・骨盤帯の評価治療とクリニカルリーズニング ──	藤縄　理 (埼玉県立大学理学療法学科) 荒木　茂 (石川県立リハビリテーションセンター)	看護リハビリ 新潟保健医療専門学校
3月19日(日)	第30回技術研修 脳卒中後運動障害に対する電気刺激の理論と実際	生野 公貴 (西大和リハビリテーション病院)	看護リハビリ 新潟保健医療専門学校

（11月現在）

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！ 研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

決済代行機能の利用に伴い、協会の決済後のキャンセルついては返金ができませんのでご了承ください。申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

○研修会 DVD の貸出しについて
木戸病院　　江川真司
E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○学会研修会関連のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

○生涯学習関連のお問い合わせ
桑名病院　　田中　健
E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ
新潟リハビリテーション病院　　立石　学
E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

公益事業部　事業実施報告

公益事業部長　柳　　保

新潟福祉機器展後の活動について報告いたします。公益事業部では７月10日イオン長岡店で理学療法週間全国一斉イベント「介護予防・健康増進キャンペーン」を実施、９月17・18日の両日にはアオーレ長岡に於て「長岡すこやか・ともしびまつり」、同月22日にはユニオンプラザでの「健康寿命延伸フォーラム」に参加、さらに10月16日には万代シテイでの「新潟市民健康福祉まつり」に参加し、いずれも来場した方々に介護予防の啓発を入り口として理学療法（士）のPRを行いました。ブースでは体成分分析や２ステップテスト、立ち上がりテスト、ミニレクチャーなどをその会場に合わせて実施し、多くの方にご来場いただき大変好評をいただきました（一部のイベントの様子は理学療法の日特設サイトhttp://www.japanpt.or.jp/rigakuryohonohi/end_eventsでご覧いただけます）。また、理学療法（士）と介護予防に関するアンケートも実施しており、結果は県士会HPよりご覧いただけます。さらに理学療法週間では「高校生見学」として県内56の施設から高校生191名を受け入れていただき、県内の高校生に対し理学療法（士）の理解を広めることができました。ご協力くださった施設の皆様、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

各イベントに於ても、たくさんの方から参加スタッフのご応募・ご協力をいただいております。ご参加くださった皆様ありがとうございました。今後も広く県民の健康増進に寄与する職能団体として、参加する側としても楽しみながらアピールを続けていきたいと思います。また、今後も各イベントにおいては随時スタッフを募集いたしますので、会員の皆様のご協力をお願いします。

介護予防・健康増進キャンペーン

長岡すこやか・ともしびまつり

健康寿命延伸フォーラム

新潟市民健康福祉まつり

広報部ニュース

1 メールマガジン（メルマガ）への登録をお願いします。

新しくなったホームページ（右下方）よりメルマガ登録をお願いいたします。登録は氏名・会員番号・メールアドレスを入力していただくだけで、とても簡単にできます。メルマガは会員に限定した情報を発信するため、入力の際はお間違えのないようにお願いいたします。（※会員であることが認証できない場合は、メルマガの配信を停止いたします。）

各種お知らせの迅速な発信とペーパレス化に向けてご協力をお願いします。

2 ロゴが決定しました。

ホームページのリニューアルに伴い、新潟県理学療法士会のロゴが決定しました。ロゴの作製はホームページのデザインをお願いしたタカヨシさんより３案ご提案いただき、その中から理事会にて最終決定したものです。

「N」の筆記体をイメージし、対象者を支える医療現場のネットワークを表しています。また、オレンジ色（左上部）の丸は患者・利用者などの対象者を表し、水色（右下部）の丸は理学療法士を表しており、医療現場の中でネットワークを通して、対象者を理学療法士が支えるというコンセプトとなっています。

今後、様々な場面でロゴを活用していきたいと思います。

なお、ロゴの使用については、下記までご連絡ください。

（社）新潟県理学療法士会　広報部　松 林 義 人 ： matsubayashi@nur.ac.jp

公益社団法人
新潟県理学療法士会
NiPTA
Niigata Physical Therapy Association

編集後記

１年過ぎるのはあっという間です。高齢の方から、「年をとれば１年なんてあっという間だ！」とよく耳にしたものですが、年齢を重ねるたびに実感する今日このごろ。しかし、見方を変えれば、時間の経過が早いということは日々充実して過ごしているという証ですね。　（Y）

ゆきわり草　No.177
編集責任者　松　林　義　人
問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp